

## 第126回「建設施工研修会」開催のご案内

標記の「研修会」(工事記録映写会)を下記のとおり開催いたしますので、多数お誘い合せのうえ、当日会場へご来場下さいますよう、ご案内申し上げます。

記

- ◎ 場 所:機械振興会館 地下3階 研修-2号会議室
- ◎ 日 時:平成 28年 6月 9日 (木) 13:00~17:00 (CPDS受付 12:30~)
- ◎ 入 場:無 料 (当日、入退場はご自由です。CPDS発行希望者は途中退室不可)
- ※ ご来場の折には、入り口付近にパンフレットを用意しておきますので、ご自由にお取り下さい。  
また、名刺受けを設置しておきますので、恐れ入りますが、ご名刺をお入れ下さい。

第126回「建設施工研修会」プログラム				
1	上部障害クリア工法 超低空頭専用圧入機	H26	12分	(株)技研製作所
2	CI-CMC工法 (大径・高品質の深層混合処理工法)	H27	9分	(株)不動テトラ
3	遠隔型水中掘削機の開発と実施工	H28	20分	大成建設(株)、 (株)アクティオ、極東建設(株)
4	New DREAM ニーズに応える進化系 ニューマチックケーソン	H23	16分	大豊建設(株)
5	生まれゆく港 (田子の浦港 ニューマチック ケーソン防波堤工事)	S35	20分	大豊建設(株)
6	エコ・コンパクトスタジアム 新世代スタジアムの 先駆け 市立吹田サッカースタジアム	H28	16分	(株)竹中工務店
7	ジオファイバー工法	H15	15分	日特建設(株)
休憩15分				
8	重機式放射能簡易計測装置	H27	2分	日立建機(株)
9	陸前高田震災復興プロジェクト	H26	10分	清水建設(株)
10	石垣修復支援システム	H20	8分	清水建設(株)
11	がれきのない明日へ 廃棄物処理で築いた復興への道	H26	22分	鹿島建設(株)
12	『コベルコの林業機械』	H26	10分	コベルコ建機(株)
13	新型超小旋回ミニショベル	H27	8分	コベルコ建機(株)
14	統合せん孔支援システム「ドリルNAVI」の開発	H28	7分	(株)鴻池組
15	平泉中尊寺本堂 耐震補強工事記録 (スーパー板壁工法)	H27	12分	(株)大林組
16	近畿自動車道紀勢線(田辺~すさみ) 見草トンネル紹介ビデオ	H27	16分	(株)大林組

※CPDS登録の為の受講証明書の発行を希望の方は、別紙様式で**事前申請**願います。

受講証明書は、後日送付いたします。

一般社団法人 日本建設機械施工協会 業務部

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館

TEL:03-3433-1501 FAX:03-3432-0289

## 記録映像の概要

1	武蔵水路改修工事における、JR線桁下での仮締切鋼矢板圧入工 桁下クリアランス1.0mでの圧入技術(水上施工) 世界初、鋼矢板の機械式継手(水中接合)
2	CI-CMC工法は、エアを用いてスラリーを霧状に吐出する「エジェクタ吐出」機構の開発により、大径かつ高品質な改良体を造成する深層混合処理工法です。 周辺変位も大幅に低減でき、市街地や既設構造物近接での施工が可能です。 CI-CMC工法は、高い品質を保ちつつ大量施工を行うことでコスト削減を実現します。 NETIS(国土交通省新技術活用システム)において、平成22年度活用促進技術に選定されています。
3	水中掘削機の開発過程とダム再開発事業における施工実績
4	ニューマチックケーソン工法紹介(無人化施工)
5	ニューマチックケーソン工法による防波堤築造工事
6	エコ・コンパクトな新世代スタジアムの先駆けとして、企画設計から徹底的な省人化による超短工期での施工実績記録を紹介。
7	当社が開発し、協会の事務局を務めているジオファイバー工法の紹介映像です。 セメントを使用しない環境配慮型の法面保護工として、工法概要、施工方法、施工事例等を紹介しています。
8	放射能汚染廃棄物土のうを 1. 取扱い 2. 質量及び放射能計測 3. 判別・判定 4. 運搬 するために、バックホウと放射能計測装置を融合させた
9	弊社が施工した陸前高田震災復興プロジェクトの紹介映像
10	弊社が独自に開発した石垣修復システムの説明、現実の作業状況の録画 (製作はやや古いですが、今現在の旬な話題として<現在はドローン等も使用して進化している>)
11	東日本大震災において発生した廃棄物処理にもなう機械化施工事例の内、石巻ブロックについて紹介したもの
12	高性能林業機械の概要紹介および コベルコ建機(株)製林業ベースマシン商品ラインナップ紹介
13	コベルコ建機(株)の新型少々旋回ミニショベル SK30UR/SK38UR/SK50URの商品概要とその特徴
14	山岳トンネルで多く採用される発破工法では、余振りが増大することで材料コストや施工サイクルのロスが問題になっている。また、山岳トンネルは地下深くにある線状構造物であり、事前に地表から十分な地質調査を行えないため、前方地質を適切に評価しながら掘進することが重要である。統合せん孔支援システム「ドリルNAVI」は、山岳トンネルで標準的に使用するドリルジャンボを高度化することで、発破孔やロックボルト、補助工法等の全ての穿孔作業を高精度に行うとともに、全削岩機に搭載した穿孔探査器で取得した位置情報を持った穿孔データを地山診断に活用することで、上記の課題を解決したものである。
15	平泉中尊寺本堂 耐震補強工事記録です。
16	近畿自動車道紀勢線(田辺～すさみ)見草トンネル紹介ビデオです。